

第8回全国コミュニティ大会 西岡委員長 挨拶

このコミュニティ大会は、ITコーディネータ届出組織の皆さんが、知恵を持ち寄って活動状況を情報交換し、うまくやっている組織のビジネスの話を聞いたり、この会をきっかけとしてITコーディネータ 同士の人脈を広げる、という趣旨で年間2回開催しています。

通常のビジネスでは、うまくいっている人が他人にノウハウを教えることはないのですが、ITコーディネータの場合は、すでにうまくやっている人たちでも「今はまだ失うものは無い。それより、今はみんなで協力して市場を作り、拡大する時期だ。だから自分だけでお客さんを囲い込むより、みんなで協力する方が大切です。」と、言って頂いて積極的な指導をして頂いています。

このように全国コミュニティ大会は成功ノウハウの共有と、ITコーディネータ間の交流の場です。年に1~2回しかない貴重な機会ですので、会議終了後には懇親会もありますから、積極的な交流をぜひ進めていただきたいと思います。それが本日のイベントの目的です。

また、今日は、大阪から昭和電機の柏木社長にわざわざ来ていただきました。経営者から見て、「ITコーディネータはどう見えるのか」ということを率直に話してください、とお願いしています。柏木社長は、10月に開催された経済産業省の情報化月間「IT経営促進部門」表彰にて、経済産業大臣賞を受賞されました。今日は、その経済産業省から夏目室長さんもお来賓としていらっしゃっていますが、この昭和電機のIT化を指導された2人のITコーディネータの方にもお話ししていただきますので、きっと皆さんの参考になると思います。

そして、もう一つ、大変重要なテーマがあります。私がコーディネータをするパネルディスカッションのテーマは、「IT経営キャラバン隊をどう活用するか」というものです。既にくいつかのITC届出組織から、活用方法のご提案をいただいております。その中から4組織の提案者から説明をいただいて、みんな議論の叩き台にしたいと思います。

このパネルディスカッションでは、一方向で聞き置くだけでなく、ぜひ今日参加されている皆さんからの活発なご質疑、ご意見をお願いします。

ところで、皆さんは、IT経営キャラバン隊とは何か、ご存知ですか？ご存じない方のために、まず最初に、IT経営キャラバン隊の発起人として声をあげられたマイクロソフトの秋本さん（IT経営キャラバン隊事務局）から詳しくお話を頂きます。秋本さんは、業務開発広報委員会の委員でもあります。そのあとで、「じゃあ、私たちはこのキャラバン隊をどう活用するのか」というディスカッションにしていきたいと思っております。

それでは、皆さん、今日はどうぞよろしくお願いします。